

屋内体育館は、バスケットとバレーボールが、二階にはランニングコースと卓球スペース六面分を有し、それぞれ同時に使用できる規模となっています。さらに、地域社会に開かれた施設とするために、一般開放専用の玄関や更衣室、ミーティングルーム、用具室、便所などを設けることにしています。

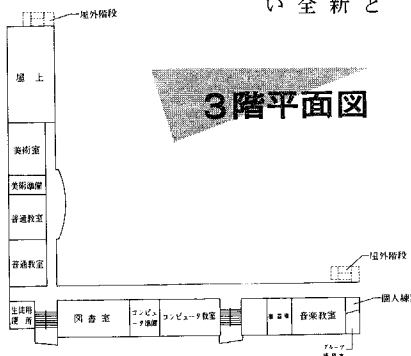
正面のバルコニーに丸みを付け、ソフトな感じが表現され、内装関係は、特に木材をふんだんに取り入れて、木のぬくもり感を出すなど工夫されています。

一方、グラウンドにおいては、直線百メートル、一周二百メートルのトラック（それぞれ八コース）のほか、野球練習場も建設する予定です。

が平成三年度～四年度、食堂棟は四年度、屋内体育館が五年度の予定であり、グラウンドも建物の建設状況を踏まえながら四年度に整備する予定です。

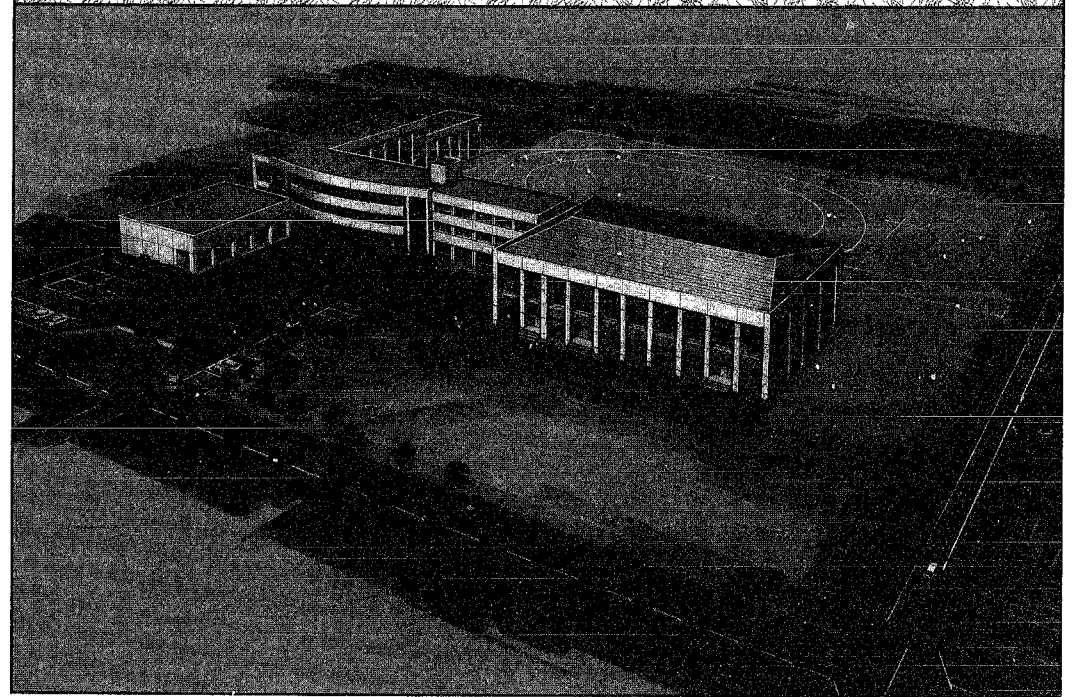
現段階の計画では、七月ごろに工事に着手し、翌年八月に竣工、九月には新しい校舎で授業が行われるよう準備を進めています。

※現在の中学校校舎は、そのほとんどが老朽化していて、耐力度調査により危険建物として認定されたことから、新しい校舎棟などの完成後、全部を取り壊すことになっています。



これが、新月潟中学校だ!!

鉄筋3階建て、延べ4,617㎡、食堂棟付き



月潟の子供たちのために よりよい教育環境整備

◆中学校の建設計画決まる◆

月潟中学校の建設基本設計図が完成し、このたびの学校施設整備促進協議会で承認され、実施設計の出来あがりを経て本年度から三か年計画で建設が行われることになりました。

概算事業費は約二十億三千六百万円（用地費などを含む）の見込みで、計画においては、①生徒の個性を生かし、教育の学習方法の多様化に対応した施設づくり。②ゆとりと潤いと文化性を備え、明るく自由な雰囲気をも出し出す施設。③地域の人々の生涯学習の拠点となる地域社会に開かれた施設づくり。④緑豊かな施設づくりなどの点に配慮し検討してきました。

新中学校の建物の面積は、校舎棟が鉄筋三階建て、延べ四千六十七平方メートル（現有、二千五百四十五平方メートル）と大きく、食堂棟を新しく設け、平屋建て四百九十五平方メートル、

また、屋内体育館は一部二階建て、千六百二十平方メートル（現有、八百二十七平方メートル）の規模となっています。

校舎の内容としては、校舎棟に八十平方メートルの広さをもつ普通教室六つのほか、予備教室を一つ設け（当面は、職員会議室として使用）、特別教室としては、木工・金工室、図書室、理科室、音楽室、調理室、被服室、美術室、教育相談室などを、さらに、コンピュータ教室、多目的スペースを新たに設置し、生涯学習体系への移行、情報化への対応など、二十一世紀に向けた学習環境を整備充実することに重点をおいたものとなっています。

また、食堂棟は、全学年一斉給食が可能となり、好ましい人間関係の育成が図られるほか、入学式、卒業式など多目的に活用できるようステージを配備する計画です。